

～ 初夏のお花見 ズミ・エゴノキ・ツクバネウツギ・サワフタギ ～



「なつ」は「暑(あつ)」「なりたつ」「熱(ねつ)」からの転訛といわれる

「夏」の初形は舞楽用の冠と面をかぶって舞う人を描いた象形文字

夏(か)と呼ぶ舞楽をこの時期に行うところから四季の呼び名になった

夏の色は赤とされる

立夏は5月5日

<b>ズミ</b> (酢実)	バラ科・リンゴ属	キミ(黄実)ズミ?
相生山の花	別名:コナシ(小梨)・コソゴ(小林檜)	樹皮 染料(黄色)
落葉亜高木	短枝:刺状 長枝の葉:切込み有	リンゴの台木・櫛

<b>エゴノキ</b> (斉墩果)	エゴノキ科・エゴノキ属	<i>snow bell</i> 有毒
果皮がえごい(えぐい)	落葉亜高木	葉:葉脈が透ける 花:総状花序
実:サポニン 石鹼、魚とり	別名:ロクロギ るくる細工	虫えい:エゴノネコアシ

<b>ツクバネウツギ</b> (衝羽根空木)	スイカズラ科・ツクバネウツギ属	萼 つくばね
日本固有種	落葉低木	対生 花:漏斗状・左右相対・香良し

<b>サワフタギ</b> (沢蓋木)	ハイノキ科・ハイノキ属	
落葉低木	葉:両面毛 ざらつく	花:円錐花序 実:藍熟
木灰:紫根(しこん)染めの媒染	別名:ニシゴリ(錦織木)	類:クロミノニシゴリ



相生山にも ……? 東南アジアから帰ってきた夏鳥たち

<b>オオルリ</b> (大瑠璃)	スズメ目・ヒタキ科	日本三鳴鳥 (+ウグイス、コマドリ)
上面:瑠璃色、頭:蒼色、のど:黒色	淡褐色、腹:のど:白色	溪流・湖沼・湿原に隣接する林
さえずりの最後「…ジジ」	繁殖期 「チュー、ピイ、ピイピピチュー」	フライングキャッチ
<b>キビタキ</b> (黄鶺鴒)	スズメ目・ヒタキ科	啼き声「ヒイヒイ」「カチカチ」=火打石
上面:黒、のど:オレンジ、腹・眉斑:黄、翼:白斑	オリーブ褐色	渡りの時期、市街地にも現れる
<b>センダイムシクイ</b> (仙台虫喰)	スズメ目・ウグイス科	さえずり「焼酎一杯、グイー」??
上面:淡褐色+緑色味、頭中央線:黄白、腹:汚白色、下尾筒:黄味強		低山の落葉広葉樹林

6月2日(土) 22:00 ~ ヒメボタルと一緒に 夜の森

次回のご案内 : 6月10日 ~ さまざまないのちと たくさんの出会い ~  
ゆっくり歩こう あふれる緑に染まるまで 暑さ対策 忘れずに!

連絡先(古川)  
 tell/fax 052-821-6463  
 ケイタイ 080-5124-6463  
 e mail: viva\_forest@yahoo.co.jp  
 HP: ラブリーアース 検索



2012年 相生山の樹木 32種				
No	標準和名	科	4月8日	5月13日
1	アオハダ	モチノキ		花
2	アカマツ	マツ		
3	アカメガシワ	トウダイグサ	芽吹き	
4	アズキナシ	バラ	葉	
5	アベマキ	ブナ	芽吹き	
6	アラカシ	ブナ	新芽	
7	イソノキ	クロウメモドキ		
8	イボタノキ	モクセイ	芽吹き	花
9	カクレミノ	ウコギ		
10	カナメモチ	バラ	新芽	花
11	クサギ	シソ		
12	クスノキ	クスノキ		花
13	コナラ	ブナ	開花 葉	
14	コバノガマズミ	レンブクソウ	蕾膨らむ	ガマズミ
15	コバノミツバツツジ	ツツジ	開花	
16	サワフタギ	ハイノキ	膨らむ	花
17	シャシャンボ	ツツジ		
18	ズミ	バラ		花
19	ソヨゴ	モチノキ		花
20	タカノツメ	ウコギ	膨らむ	花
21	ナツハゼ	ツツジ		花
22	ヌルデ	ウルシ	芽吹き	
23	ネジキ	ツツジ	葉展開	花
24	ネズ	ヒノキ	実あり	
25	ネズミモチ	モクセイ		花
26	ヒサカキ	サカキ	花	
27	モチノキ	モチノキ		花?
28	ヤマウルシ	ウルシ	芽吹き	花
29	ヤマコウバシ	クスノキ	膨らむ	花?
30	ヤマザクラ	バラ	開花	実
31	ヤマハギ	マメ		
32	リョウブ	リョウブ	膨らむ	

note

ウルシに注意

第2日曜、昨年より5日遅れ 開花ズレ

花: ッハ'ネウツギ' エノキ

ガマズミ イヌツゲ' エノキ クロミ'ニシゴリ? など

実: ヤマザクラ オオシマザクラ など

葉: 常緑樹の若葉もきれいです。

復活! ムラサキシキブ

鳥: 夏鳥 ..... 3種

・ツバメ

・センダイムシクイ

・キビタキ

・オオタカ

・キジバト

・コゲラ

・ヒヨドリ

・シジュウカラ

・メジロ

・スズメ

・ムクドリ

・ハシブトガラス 合計 12種

蝶:

## その四拾五： 今年の春は・・・(2)

今年の春は、ちょっと樹々の花が少ない春です。

普通、前年の夏が暑いと翌年は花がたくさん咲くといわれています。これは、植物体が弱るため、子孫を残そうとして花を多数つけるというメカニズムだと思われます。

しかし、今年の春は、今年の夏が猛暑だったにもかかわらず、どの樹木も花着きが悪く、ちょっと寂しい春です。特に、シデコブシ・タムシバ・オオカメノキ・マンサクなどは不作年です。

なぜでしょう？

それは、一昨年も猛暑だったため、どの樹木も昨年大量の実を着けてしまったためです。おかげで、私達は、ヤマボウシもサルナシもたくさん食べることができました。しかし、植物たちは実を着け過ぎたため体力を消耗してしまい、今春は、花を咲かせる体力がなくなってしまったのです。

その恩恵で、スギヤヒノキの花粉も少なく、花粉症の人達（私も）は少し楽な春を迎えることができました。



オオカメノキ

何事にも表と裏があり、良い面があれば必ず悪い面もあります。悪い時があれば、そのうち必ず良い時が来ます。それを信じて、皆さんも頑ばりましょうね！

## 森の管理人だより



ある日、森の中、くまさんに会った 2012.5.6

クマは、生まれてはじめてあったので、見れてとてもよかったです。  
親子のくまで、みみがとてもかわいかったです。 崇祐（しゅうすけ）

はじめて親子のくまにあえてうれしかったです。 思来（ことな）

くまはかわいかったけど、もういっかいあいたかったけど、  
もうあえないかもしれない。 依歩記（いぶき）



ラブリーアースの森の帰り道、道上の斜面に「あっ！熊だ」。  
慌てて車を飛び降りて見上げると、子連れの子熊でした。落石防止の金網越しに安全な距離を保ち、母熊が「ジ～」と不安そうな眼差しをこちらに向けています。

しばらくの間、私達親子の時間の流れが熊の親子の時間の流れに少し近付けた気がしました。

出てきてくれて「ありがとう」。おやつの時間の邪魔をして「ごめんね」。

野生動物に会うといつも感じることは、彼らの時の流れる速さと我々の時の流れる速さがあまりにも違うということです。

そしていつも彼らの“時間”の中に引き込まれてしまいます。

その“時間”がとても心地よく感じます。

いつか自分も自分の家族もその“時間”のなかで暮らしていければと。

王滝村に暮らし始め1年、少しは近付けているのかな！？

M. Hayashi



イラストは K・直美さん（名古屋市緑区）